

2018年度事業報告

当法人は、2018年7月1日～2019年6月30日の期間、定款第3条の目的(この法人は、鍼灸師が鍼灸業務を通じて地域社会に貢献することを目的とし、また、その情報交換と、相互支援、資質向上に寄与することを目的とする)を達成するため、同第5条に示す事業を下記の通り行った。

1. 鍼灸による地域支援を向上するための事業

① 福島県小児はり普及、仮設団地活動

【親子鍼灸マッサージサロン+小児はり臨床研修】

内容:福島県本宮市の「さくらんぼ広場」にて、NPO 法人「いどばた会」と連携して小児はりによる子どものストレスケアと小児はりの普及を目的としたサロン活動を行っている。2018年3月末までは当 NPO の事業として行っていたが、以降は主催を「小児中医勉強会」に移譲、当 NPO は協力として3か月に1回の割合で参加している。

協力団体: NPO 法人「いどばた会」、小児中医勉強会(A&M)

担当責任者: 浜野浩一

【仮設住宅における鍼灸マッサージ傾聴サロン】

内容: 2012年11月より、福島県内の仮設住宅や復興支援住宅にて「鍼灸マッサージ傾聴サロン」を継続中。鍼灸やマッサージ活動の隣スペースで、曹洞宗の青年僧侶による傾聴などのサロンが行われ、高齢者の居場所作りや見守り活動となっている。現在は3か月に1回の割合で協力団体と協同開催している。

協力団体: 曹洞宗東日本大震災復興支援室福島分室

担当責任者: 浜野浩一

【県外避難からの福島帰還者を訪問、傾聴活動】

内容: 京都府に避難後、福島県に帰省した方々を、避難中に「鍼灸マッサージ傾聴サロン」のスタッフが訪問し、見守りを行う活動。昨年度に続き2回目の活動を2018年11月に開催。避難先からの見守り活動としている。

協力団体: 京都府精神福祉協会

曹洞宗東日本大震災復興支援室福島分室、他

担当責任者: 日比泰広

【「ふくしまっ子リフレッシュ in 世田谷」にて小児はり活動】

内容: 福島県の児童に対する保養プログラムにて、「親子鍼灸マッサージサロン活動」を行った。川俣町の「コミュニティちゃばたけ」で2012年～2017年に活動してきた活動などから子どもの小児はりや保護者への鍼灸マッサージを同会場で行うことで様々なケアができる。

協力団体: 福島の子もたちとともに・世田谷の会

担当責任者: 浜野浩一

② 京都府避難者支援活動

【鍼灸マッサージサロン京都市山科団地活動】

内容:2015年5月より京都市山科団地に入居されている東日本大震災の避難者を対象。
2019年3月まで当 NPO の活動としてとした鍼灸サロンを月1回開催してきた。

協力団体:NPO 法人和、京都府精神福祉協会、
京都府避難者支援プラットフォーム会議参加団体、その他、
担当責任者:森岡正和

【鍼灸マッサージサロン国家公務員宿舎桃山東合同宿舎活動】

内容:平成29年5月より、桃山東郷同宿舎に居住されている東日本大震災の避難者を対象とした鍼灸マッサージサロンを開催。国の避難者に対する住宅支援終了に伴い、今後の生活についての相談会と合わせてマッサージや鍼灸の施術を行い、傾聴のサポートを行った。桃山東合同宿舎の閉鎖により2019年3月の活動を持って終了した。

協力団体:NPO 法人和、京都府精神福祉協会、京都府避難者支援プラットフォーム会議参加団体、他
活動責任者:吉舎定良

【鍼灸マッサージサロンキッチン Nagomi 活動】

内容:閉鎖される桃山東郷同宿舎や、その他の地域に住まう避難者を対象とした鍼灸マッサージサロン。美容鍼やケアワーカーのサポートをいただきながら継続してきたが、ニーズが無く2018年12月の活動を持って終了した。

協力団体:NPO 法人和、京都府精神福祉協会、
京都府避難者支援プラットフォーム会議参加団体、その他、
担当責任者:土肥慶太

【京都府における東日本大震災避難者を対象としたイベント参加】

内容:京都府避難者支援プラットフォーム主催の「東日本⇄京都 相談会・交流会」にて、平成25年より鍼灸マッサージブースを出展している。段々と参加する避難者の人数は減少してきているが、当ブースは毎年人気がある。また、これまで東日本大震災の避難者が居住してこられた国家公務員宿舎桃山東合同団地には、2019年3月に閉鎖されるため、元住民の方々も含めた「お別れ会」が開催され、当 NPO も集会所にて鍼灸マッサージ活動を行った。

協働団体:京都府避難者支援プラットフォーム、NPO 法人和、他
担当責任者:森岡正和

③「平成30年7月豪雨」福知山市支援活動

内容:「平成30年7月豪雨」で被災した京都府福知山市における災害鍼灸活動。京都府北部では多くの市町が被災し、避難者の状況などの情報収集も把握が困難であったため、一般支援者等を対象とした支援活動の調整業務(コーディネート)を当 NPO が担当した。実際の活動は、(公社)京都府鍼灸マッサージ師会、(公社)京都府鍼灸師会の会員の方々によって行われた。

協力団体:京都府府民力推進課、災害時 NPO 等連携ネットワーク、
福知山市社会福祉協会、他

担当責任者:日比泰広

④「平成30年7月豪雨」岡山県支援活動

内容:「平成30年7月豪雨」で甚大な被害に遭った倉敷市と総社市にて7月19日より避難所を中心に災害鍼灸マッサージ活動を行った。発災当初はNPO法人キャンナスとの連携により、「菌小学校避難所」を中心に活動。避難所閉鎖後は社協や支援団体と連携して仮設住宅サロン活動や復興イベントに参加。コミュニティ支援や支援者連携として現在も活動中。

協力団体:岡山県社会福祉協議会、倉敷真備災害ボランティアセンター、おかやまNPOセンター、他
担当責任者:飯塚美紀代

2. 鍼灸師の学術向上を目的とする事業

【鍼灸師・アマ指師のための対人援助論に基づく傾聴研修】

内容:災害支援の現場だけでなく、日常の臨床における援助としての被災者や患者のスピリチュアルケア・傾聴について学ぶ。

協力団体:NPO 法人対人援助・スピリチュアルケア研究会、NPO 法人和
担当責任者:日比泰広

3. 地域社会のために鍼灸と他業種の連携を促進する事業

① 京都府災害鍼灸マッサージコーディネート研修

2016年12月に京都府の鍼灸団体合同による災害時の支援活動の1本化が話し合われた。災害対策本部設営準備や災害研修を合同で行うとの合意があり、当 NPO がそのディレクションに携わっている。2017年1月より災害対策と研修を開始し、2018度は滋賀県の鍼灸団体と合同にて演習形研修を開催した。

協力団体:京都府健康福祉部医療課、(公社)京都府鍼灸マッサージ師会、(公社)京都府鍼灸師会、
(公社)京都府視覚障害者協会、NPO 法人災害医療 ACT 研究所、京都府 JRAT、他
担当責任者:日比泰広

② 滋賀県災害鍼灸マッサージ研修

2017年12月に滋賀県と(一社)滋賀県鍼灸マッサージ師会、(一社)滋賀県鍼灸師会が災害協定を締結した。都道府県と業団の災害協定は全国初であり、災害に関する研修を両団体が合同で行っている。当 NPO ではこの災害協定に基づいた活動が潤滑に行われるための研修ディレクションを担当している。

2018年度は県災害医療担当者より、地域の災害医療制度や救急搬送などについての説明、高槻赤十字病院医師の岡本文雄医師による「エコノミークラス症候群」を始めとする災害時の健康被害についての講義を行った。また、京都府の業団と合同での災害コーディネート演習や、滋賀県視覚障害者センターや彦根市との連携による福祉避難所設営訓練に参加している。

協力団体:滋賀県健康医療福祉部医療政策課、彦根市、(一社)滋賀県鍼灸マッサージ師会、
(一社)滋賀県鍼灸師会、 滋賀県視覚障害者センター、NPO 法人災害医療 ACT 研究所、他
担当責任者:日比泰広

③ 兵庫県鍼灸師会災害研修

兵庫県鍼灸師会の依頼により、災害時の鍼灸による支援活動とBCPについての講義を行った。

担当責任者:日比泰広

④ その他の研修

【災害医療コーディネーター研修受講】

当 NPO の災害活動においてスーパーバイズをいただいている「NPO 法人災害医療 ACT 研究所」が主催する「災害医療コーディネート研修オープンコース」と「避難所を極めるコース」を受講し、災害時の連携や調整業務について学んでいる。

参加者:浜野浩一、木村展育、藤沼敦子

【BCP 研修受講】

災害時 NPO 等連携ネットワークの主催する「組織運営としての BCP(事業継続計画)」の研修に参加した。今後は鍼灸業団が災害時に確実に機能し、支援活動できるための組織作りや災害に強い鍼灸院経営に役立てていく予定。

参加者:日比泰広

【これまでの復興支援活動の検証とこれからの地域支援を考える】

曹洞宗東日本大震災復興支援室福島分室の主催によるこれまでの支援活動の検証と今後の地域支援のあり方についての研修会が福島市にて行われた。

参加者:浜野浩一

⑤ 関連組織との連携事業

【災害時 NPO 等連携ネットワーク幹事会】

通称「災害 NPO ネット」の幹事として、2か月に1回開催される幹事会に参加し、災害時の行政や福祉系 NPO の連携について協議をしている。第3回大会では、鍼灸マッサージの体験ブースを設営し、府内の福祉関係者等に鍼灸やマッサージによる支援活動を知る機会とした。

参加者:森岡正和、吉舎定良、京都府鍼灸師会、京都府鍼灸マッサージ師会の会員諸師

【京都府避難者支援プラットフォーム会議】

月1回開催される避難者支援会議にはなるべく参加し、現在の福島県についての情報入手や避難者の支援についての連携について話し合った。

担当者:日比泰広

【京都府 JRAT との協力と連絡】

2019年2月に発足した京都府 JRAT との連携を深めるため、設立記念式典参加や当 NPO の開催する研修を案内、普段から顔の見える関係作りを行っている。

担当者: 日比泰広

4. 地域支援をする鍼灸師への情報発信と交流のための事業

① ホームページ管理

当 NPO のホームページは「Office 藍」に委託している。鍼灸師・あま指師の地域支援が見えるよう、こちらの要望などを伝えながら運営してもらっている。

担当者: 藤沼敦子

② 会員用メールマガジン

隔月(奇数月)に会員用メールマガジンを発行している。ホームページと連携して当 NPO の活動をはじめ、地域支援の情報を会員同士が共有することを目的とする。また関係機関の方の話などを記事にしてきた。メルマガ企画「となりの鍼灸院」では、会員個人や施術所、鍼灸のスタイルなどを紹介している。

担当責任者: 藤沼敦子

③ 災害時情報共有ツール・災害時電子カルテ作成

災害時に情報を共有するシステムとして、災害医療チームとの連携、避難所の情報、支援活動の視覚化するためのツールを作成している。

担当責任者: 嶺聡一郎

5. その他目的を達成するために必要な事業

① 本部事務

滋賀県本部において、上記の各活動が円滑に遂行されることを目的とした当 NPO の会計業務、連絡、調整等の実務を行っている。

事務アルバイト: 森田智子、他

② 理事会

平成30年度は理事会を7月20日、3月10日の2回開催した。

③ 助成金申請と報告

当 NPO の事業に対して、平成30年度は下記の助成金が採用された。

【赤い羽根中央共同募金ボラサポ「平成30年7月西日本豪雨」】

第1期(短期)、第2期(中長期)、第3期(中長期)に採用された。

【(公財)ベネッセこども基金】

「平成30年7月豪雨」避難所における小児はり活動が採用された。

【赤い羽根滋賀県共同募金会「私の町を良くするしくみ」】

滋賀県災害鍼灸活動のための対策事業にて採用された。

【連合京都「愛のカンパ」地域助成】

京都府災害鍼灸マッサージコーディネーター研修活動が採用された。

【京都府地域再生プロジェクト交付金】

京都府における災害時の鍼灸マッサージ活動について採用された。

【京都府地域再生プロジェクト交付金大雨被害被災利支援枠】

「平成30年7月豪雨」における福知山市での鍼灸マッサージによる支援者支援活動について採用された。